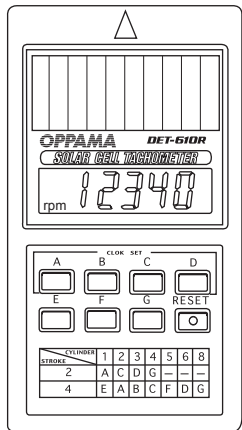


取扱説明書

デジタルエンジンタコメーター
DET-610R

※品質保証書が含まれています



※本製品は予告無に仕様変更することがあります

品質保証書

本製品は厳密な品質管理のもとに製造し、品質検査に合格したことを保証いたします。

取扱説明書にしたがった正常な使用状態で、保証期間（お買い上げから1年間）内に故障した場合には、お買い上げの販売店または当社が無料で修理いたします。

ご氏名 _____ 様 TEL _____ () _____

ご住所 _____

販売店名・住所 _____

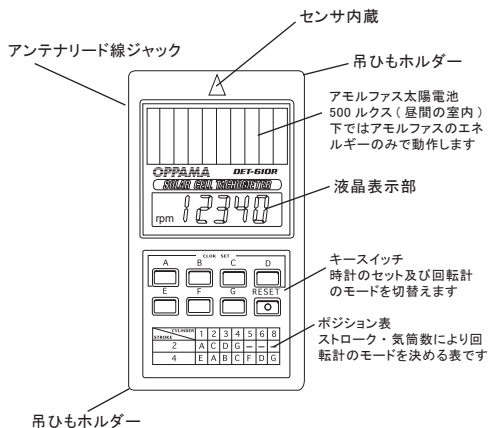
お買い上げ
TEL _____ () _____ 年 月 日

追浜工業株式会社
〒237-0061 神奈川県横浜須賀野市夏島町 14-2
TEL 046-866-2139 FAX 046-866-3090
E-MAIL : info@oppama.co.jp
ホームページ : http://www.oppama.co.jp/

A. 本機の機能

- 本機は、点火プラグ発火の際に発生するパルスを感じ取るパルスカウント方式のタコメーターです。
- 2ストローク1～4気筒、4ストローク1～6、8気筒のガソリンエンジンの回転数が測定できます。
※ダイレクトイグニッションを使用しているエンジンは測定できません。
- ※ディーゼルエンジンは測定できません。

B. 各部の名称



C. 使用方法

- 時刻の合わせ方
例) 午後3時15分00秒 (PM3:15) に合わせる場合。

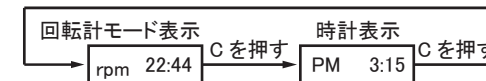
キースイッチ操作	表 示
RESET を押す	AM1:00
A を 14 回押す	PM3:00
B を 1 回押す	PM3:10
C を 5 回押す	PM3:15
D を 1 回押す	PM3:15 点滅して 00 秒よりスタートする。

※時計をスタートさせないと回転数は測定できません。
※時計セット途中状態で長時間放置しないでください。本機は時計が動作している状態で最も消費電力となる様設計されております。

2. 回転数の測定

例) 4ストローク4気筒エンジン測定の場合

- (1) ポジション表より選択して C のキースイッチを押す。
一回押すごとに表示が下図の様に替わります。



2ストローク2気筒または4ストローク4気筒のエンジンが測定できることを表します。

※回転数を測定する場合はどちらの表示になっていてもかまいません。

(2) センサ位置を点火栓コードに近づけると回転数が表示されます。

※多気筒の場合はすべての点火栓コードが集まっている場所へ近づけてください。

※必要に応じてアンテナリード線をご使用下さい。

※押されるキースイッチにより表示される回転計モードと測定可能なエンジンの関係及びそれぞれのモードでの回転数測定可能範囲は次の通りです。

キースイッチ	回転計モード表示	測定可能エンジン		測定可能範囲 rpm
		ストローク	気筒	
A	P 21.42	2 4	1 2	100 ~ 19000
B	P :43	4	3	100 ~ 13000
C	P 22.44	2 4	2 4	100 ~ 9500
D	P 23.46	2 4	3 6	100 ~ 6500
E	P :41	4	1	100 ~ 19980
F	P :45	4	5	100 ~ 7000
G	P 24.48	2 4	4 8	100 ~ 4800

※ダイレクトイグニッションを使用しているエンジンは測定できません。

D. 仕様

測定可能エンジン	ストローク	気筒
	2 4	1 ~ 4 1 ~ 6.8
回転数表示間隔	0.5 秒	
回転計精度	±10r/min(4ストローク1気筒は ±20r/min)	
時計常温制度	平均日差 ±2 秒以内	
時計表示内容	時、分、AM/PM	
電池寿命	8年以上 (回転数測定を1日1時間行った場合)	
使用温度範囲	0°C ~ +40°C	
保存温度範囲	-20°C ~ +60°C	
寸法 (L×W×H)	113×62×8.5mm	
本体重量	57g	
付属品	クリップ付きアンテナリード線 吊りひも 取扱説明書 (本紙)	

E. 使用上の注意

1. ポジションの選び方

- ①多気筒エンジンでも同時発火するものがあります。例えば P22 : 44 で正規の 1/2 倍に表示する場合は、P21 : 42 に変更してください。
- ②エンジンの種類によって捨火方式のものがあります。例えば P21 : 42 で正規の 2 倍に表示する場合は、P22 : 44 に変更してください。

2. 配線上の注意

- ①アンテナリード線を金属部・水等に接触させないでください。正規の回転数を表示しない場合や、故障の原因となります。
- ②点火プラグコードが劣化していると正規の回転数が測定できない場合があります。点火プラグコードの交換をしてください。
- ③本機のセンサー位置、又はアンテナリード線が、ディストリビューターやイグニッションコイルに近付くと正規の回転数を測定できないことがあります。これらの影響のない場所に遠ざけてください。

3. 本機の取り扱い

- ①ノイズ等の影響により、ごくまれに意味のない表示を示す場合があります。そのような時はリセットをしてください。
- ②本機を落としたり、強い衝撃は避けてください。
- ③本機は防水構造ではありませんので、水に濡らしたり、濡れた手で触れないでください。

④お手入れは、乾いた柔らかい布か中性洗剤液に浸した、固くしぼった布でお拭きください。シンナー・ベンジンなど揮発性の液体は使用しないでください。

⑤故障かなと思ったら、再度この取扱説明書を読み、作業手順を確認してください。

⚠ 注意

多気筒エンジンの場合は、すべての点火プラグコードが集まっている所の中から 1 本をクリップし、さらに各々の点火プラグコードにアンテナリード線を近づけると効果的です。

⚠ 警告

吊りひもをご使用の際は、回転物に巻き込まれないよう、充分ご注意ください。
重大な事故の発生の危険があります。

⚠ 警告

アンテナリード線をご使用の際は、エンジン操作に影響が無いことを必ずご確認ください。
重大な事故の発生の危険があります。